

平成22年12月6日

平成22年度中間期の自動車部品工業の経営動向

(社) 日本自動車部品工業会

(社) 日本自動車部品工業会は、平成22年10月1日現在での正会員企業411社のうち、上場企業で自動車部品の売上高比率が50%以上、かつ前年同期比較が可能な自動車部品専門企業83社の平成22年度中間期の経営動向を各社の連結決算短信(※連結決算を行っていない企業は単独決算短信)により集計・分析した。

<自動車メーカーの状況>

平成22年度中間期の日本経済は、前年度後半からの新興国を中心とした景気回復の影響や先進国での景気刺激策によりようやく一応の落ち着きを取り戻しつつあるとはいうものの、為替相場での円の独歩高や株価の下落等企業業績を圧迫する要因も山積しており、实体经济に関しては厳しい情勢の中にある。

このような中で、平成22年度上期の自動車業界の状況についてみると、国内では政府の景気対策のための補助金・エコカー減税等の効果もあり、一時的な需要はあった。また新興国向けを中心に輸出についても増加したことから、自動車生産台数は前年同期に比較して回復してきた。

この結果、国内生産としては4輪車が478万4千台、前年同期比24.1%増となり、上半期としては2年ぶりのプラスとなった。車種別にみても、乗用車、トラック、バスともに前年同期比でプラス(乗用車+23.1%、トラック+30.4%、バス+30.6%)の結果であった。また2輪車については31万2千台、前年同期比14.4%増となり、4年ぶりに前年同期比でプラスに転じた。

しかしながら、国内のエコカー補助金については9月前半で終了しその反動減が見込まれることや、円高の進行による輸出への影響等もあり、下期以降の情勢に関しては厳しいものになると予測される。

<部品メーカーの状況>

以上のような情勢を受け、上記自動車部品メーカー83社の平成22年度中間期の業績は、売上・利益ともに前年同期から大幅に増加し、かつ全ての利益項目に関して全体で黒字となり、以下の通りとなった。

	21年度(中間期)	22年度(中間期)	前年同期差	前年同期比
売上高	7兆3992億円	9兆5741億円	+2兆1749億円	+29.4%
営業利益	-309億円	6568億円	+6876億円	-
売上高営業利益率	-0.4%	6.9%	+7.3%	-
経常利益	-269億円	6423億円	+6691億円	-
売上高経常利益率	-0.4%	6.7%	+7.1%	-
当期利益	-1329億円	3785億円	+5114億円	-
売上高当期利益率	-1.8%	4.0%	+5.7%	-

売上高は、平成21年度上半期が、自動車各社の生産の底であったことや、エコカー減税や補助金等の効果もあり、国内生産が増加したこと。また輸出・海外生産についても新興国を中心に増加傾向であったことなどから、前年同期比で29.4%の増収となった。

利益に関しては、一昨年後半から各社が合理化や生産体制の再編等様々なコスト削減策を行ってきた中で、生産数・売上が大幅に増加したことが大きく寄与し、結果として売上原価と販売費・一般管理費の売上高に占める割合が相対的に減少した。このようなことから赤字であった前年同期に対して営業利益以下全ての項目で大幅に改善され、黒字となった。

設備投資の動向を見ると、各社の投資抑制を反映して、有形固定資産取得のための支出は前年同期比△15.6%と減少し、減価償却費に関しても△13.4%の減少となった。

借入金依存度に関しては、昨年度末の19.5%に対して3.5ポイント改善され、今回の調査では16.0%となった。ただし、過去10年間で最も低かった平成17年度では12.5%であり、それとの比較では依然として3.5ポイント高い水準にある。

平成22年度通期の各社の業績見通しに関しては、年度全体では21年度に対して増収・増益の予測ではあるものの、おもに上期での前年度からの改善によるものであり、10月以降では補助金の終了や、海外での完成車在庫の増加等生産動向が不透明であること、また円高の進行やそれに伴う株価の下落等も不安要素としてあり、下期だけを比較した場合には、21年度に対して減収・減益の予測となっている。

自動車部品工業の経営動向【数値情報】

—主要上場企業83社の平成22年度中間期の連結決算状況—

1. 対象企業

平成22年4月から平成23年3月までに決算期のある正会員上場企業で、売上高に占める自動車部品比率が50%以上の企業83社を対象とした。

2. 経営分析の方法

各社の連結決算短信（連結決算を行っていない企業は単独決算短信）による。

3. 決算状況

(1) 全体集計結果

	21年度(中間期)	22年度(中間期)	前年同期差	前年同期比
売上高	7兆3992億円	9兆5741億円	+2兆1749億円	+29.4%
営業利益	-309億円	6568億円	+6876億円	-
売上高営業利益率	-0.4%	6.9%	+7.3%	-
経常利益	-269億円	6423億円	+6691億円	-
売上高経常利益率	-0.4%	6.7%	+7.1%	-
当期利益	-1329億円	3785億円	+5114億円	-
売上高当期利益率	-1.8%	4.0%	+5.7%	-

	22年度(中間期)		
	増加	減少	合計
売上高	83社	0社	83社
営業利益	83社	0社	83社
経常利益	83社	0社	83社
当期利益	80社	3社(3)	83社(3)

※赤字幅が縮小した場合は「増加」、赤字幅が拡大した場合は「減少」に含める

※（ ）内は赤字計上会社数

① 売上高と営業利益の動向

		営業利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	83社 (100.0%)	0社 (0.0%)	83社 (100.0%)
	減収	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)
	計	83社 (100.0%)	0社 (0.0%)	83社 (100.0%)

()は構成比

② 売上高と経常利益の動向

		経常利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	83社 (100.0%)	0社 (0.0%)	83社 (100.0%)
	減収	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)
	計	83社 (100.0%)	0社 (0.0%)	83社 (100.0%)

()は構成比

③ 売上高と当期利益の動向

		当期利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	80社 (96.4%)	3社 (3.6%)	83社 (100.0%)
	減収	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)	0社 (0.0%)
	計	80社 (96.4%)	3社 (3.6%)	83社 (100.0%)

()は構成比

(2) 収益構造

科目	21年度(中間期)		22年度(中間期)				
	金額(億円)	構成比	金額(億円)	前年同期差	前年同期比	構成比	構成変化
売上高	73,992	100.0%	95,741	+21,749	+29.4%	100.0%	0.0%
売上原価	66,442	89.8%	80,549	+14,107	+21.2%	84.1%	-5.7%
販売費及び一般管理費	7,858	10.6%	8,624	+765	+9.7%	9.0%	-1.6%
営業利益	-309	-0.4%	6,568	+6,876	—	6.9%	+7.3%
営業外収益	799	1.1%	834	+35	+4.4%	0.9%	-0.2%
営業外費用	759	1.0%	979	+220	+29.0%	1.0%	0.0%
経常利益	-269	-0.4%	6,423	+6,691	—	6.7%	+7.1%
特別利益	109	0.1%	165	+56	+51.9%	0.2%	0.0%
特別損失	795	1.1%	509	-285	-35.9%	0.5%	-0.5%
税金等調整前当期利益	-955	-1.3%	6,079	+7,033	—	6.3%	+7.6%
当期利益	-1,329	-1.8%	3,785	+5,114	—	4.0%	+5.7%

(3) 所在地別の売上高、利益の状況

所在地	売上高(億円) (注1)	前年度比	営業利益(億円)	前年度比	利益率	
日本	39,030	+23.9%	1,960	—	5.0%	
海外	北中南米	11,720	+36.1%	427	—	3.6%
	欧州	3,614	+7.0%	78	+704.1%	2.2%
	アジア	13,484	+48.6%	1,702	+104.6%	12.6%
	分類不可等	1,052	+36.5%	110	+955.4%	10.5%
(消去)	(-7,758)	—	(-60)	—	—	
合計	61,142	+29.0%	4,217	—	6.9%	

↑

売上額としては今回の集計全体の63.9%をカバー

(注1) 地域別業績を公表しない企業(25/83社)が増えたため所在地別の売上・利益については、地域別セグメントを公表した58社での傾向値として掲載。

(4) 設備投資の動向 (設備投資と関係の深い有形固定資産取得のための支出額、減価償却費を集計)

※決算短信でキャッシュフローを記載している61社での数値

① 有形固定資産 (一部無形固定資産を含む) 取得のための支出額

	21年度(中間期)	22年度(中間期)	前年同期比
有形固定資産取得のための支出額(億円)	3,447	2,909	-15.6%

② 減価償却費

	21年度(中間期)	22年度(中間期)	前年同期比
減価償却費(億円)	4,648	4,024	-13.4%

(5) 借入金依存率の動向 ※H21年度末時点との比較

	21年度末	22年度(中間期)	前年度末比
借入金依存率 (%)	19.5%	16.0%	-3.5%

4. 平成22年度通期の業績見通し

(1) 全体の業績見通し (対前年度)

	21年度	22年度見通し	前年度差	前年度比
売上高	1兆6千902.3億円	1兆8千745.3億円	+1兆843.0億円	+10.9%
営業利益	590.7億円	1兆105.3億円	+514.6億円	+87.1%
売上高営業利益率	3.5%	5.9%	+2.4%	-
経常利益	619.1億円	1兆088.1億円	+469.0億円	+75.8%
売上高経常利益率	3.7%	5.8%	+2.1%	-
当期利益	209.1億円	631.0億円	+421.9億円	+201.8%
売上高当期利益率	1.2%	3.4%	2.2%	-

(2) 全体の業績見通し (対年度当初予測)

	年度当初	今回見通し	年度当初差	年度当初比
売上高	1兆7千777.8億円	1兆8千745.3億円	+967.5億円	+5.4%
営業利益	837.6億円	1兆105.3億円	+267.7億円	+32.0%
売上高営業利益率	4.7%	5.9%	+1.2%	-
経常利益	836.4億円	1兆088.1億円	+251.7億円	+30.1%
売上高経常利益率	4.7%	5.8%	+1.1%	-
当期利益	473.0億円	631.0億円	+158.0億円	+33.4%
売上高当期利益率	2.7%	3.4%	+0.7%	-

5. 平成22年度下期の業績見通し（年度の予測から上期実績を差し引いたもの）

（1）上期との比較

	上期実績	下期見通し	上期実績差	上期実績比
売上高	9兆5741億円	9兆1712億円	-4029億円	-4.2%
営業利益	6568億円	4485億円	-2082億円	-31.7%
売上高営業利益率	6.9%	4.9%	-2.0%	-
経常利益	6423億円	4458億円	-1965億円	-30.6%
売上高経常利益率	6.7%	4.9%	-1.8%	-
当期利益	3785億円	2525億円	-1260億円	-33.3%
売上高当期利益率	4.0%	2.8%	-1.2%	-

（2）前年度下期との比較

	21年度下期実績	22年度下期見通し	前年同期差	前年同期比
売上高	9兆5031億円	9兆1712億円	-3319億円	-3.5%
営業利益	6215億円	4485億円	-1730億円	-27.8%
売上高営業利益率	6.5%	4.9%	-1.6%	-
経常利益	6457億円	4458億円	-1999億円	-31.0%
売上高経常利益率	6.8%	4.9%	-1.9%	-
当期利益	3419億円	2525億円	-894億円	-26.2%
売上高当期利益率	3.6%	2.8%	-0.8%	-

6. 全体の業績動向見通し

	21年度実績			22年度見通し		
	増加	減少	合計	増加	減少	合計
売上高	1社	82社	83社	81社	2社	83社
営業利益	62社(5)	21社(7)	83社(12)	82社(0)	1社(0)	83社(0)
経常利益	62社(7)	21社(6)	83社(13)	79社(0)	4社(0)	83社(0)
当期利益	66社(15)	17社(11)	83社(26)	78社(3)	5社(0)	83社(3)

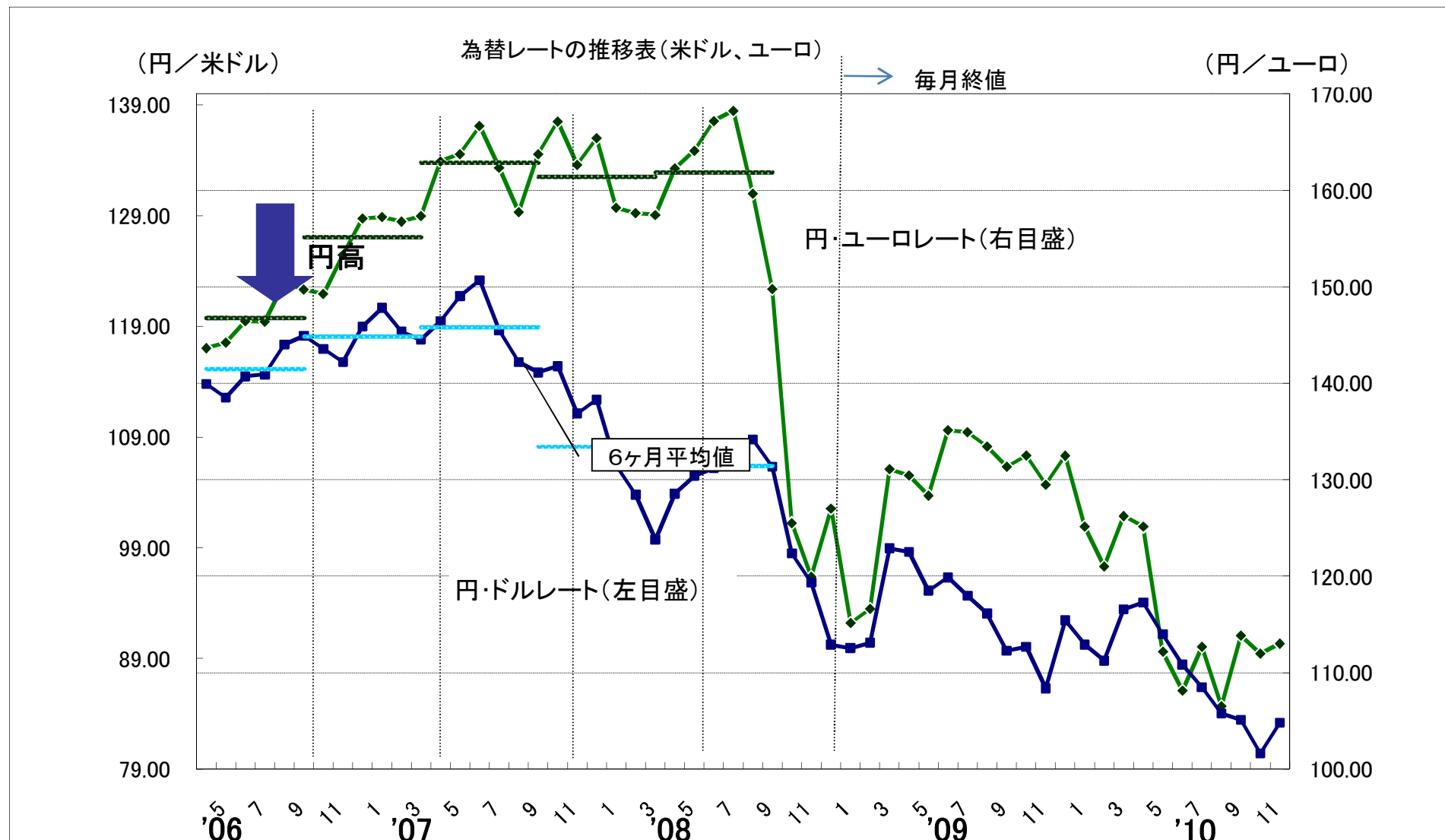
※赤字幅が減少する場合は「増加」、赤字幅が拡大する場合は「減少」に含める。

※（ ）内は赤字 [22年度は赤字予測] 会社数

全体の業績動向見通し（売上高と経常利益の動向）

		経常利益		
		増益	減益	計
売上高	増収	78社	3社	81社
	減収	1社	1社	2社
	計	79社	4社	83社

以上



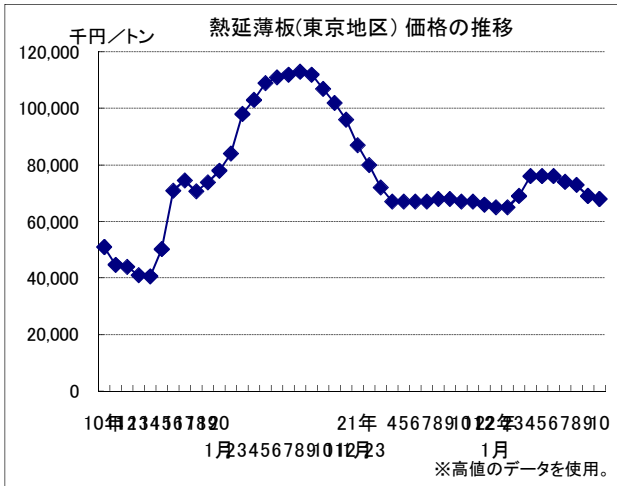
(備考)円・ドル、円・ユーロとも月末のニューヨーク市場の終値。10年11月に関しては最新値は11/15終値)

(月次)

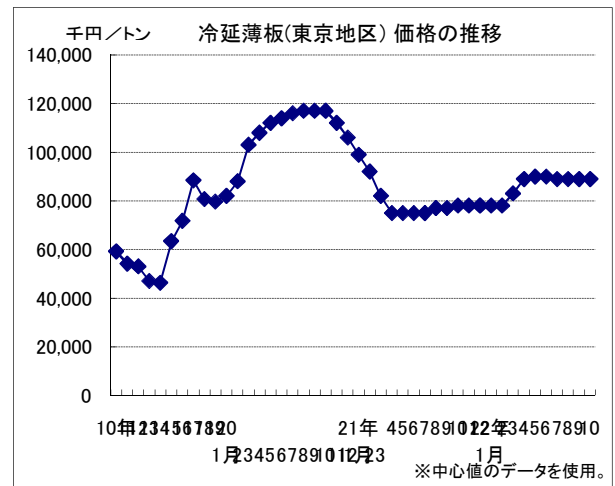
主要原材料価格の動向

(社)日本自動車部品工業会

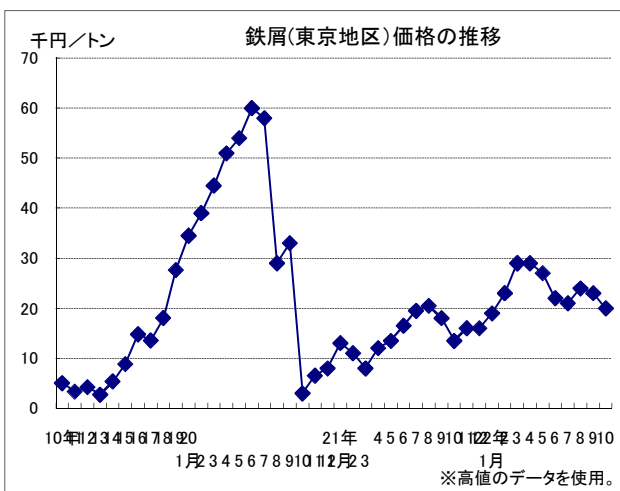
1. 熱延薄板



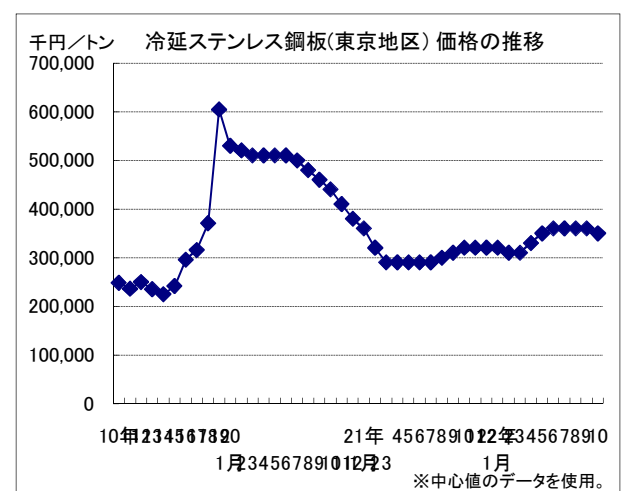
2. 冷延薄板



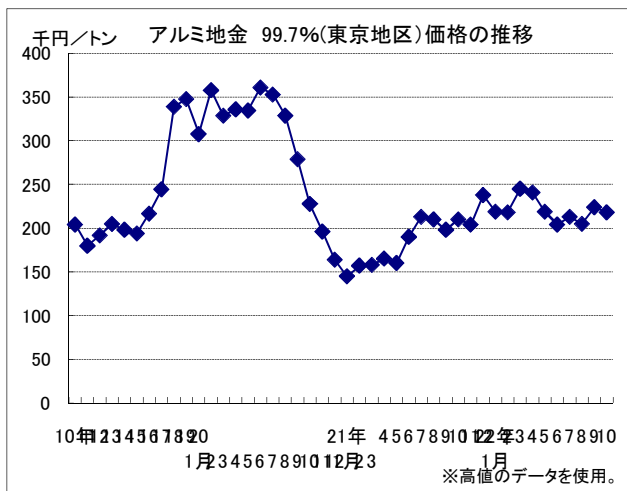
3. 鉄屑(特級H2)



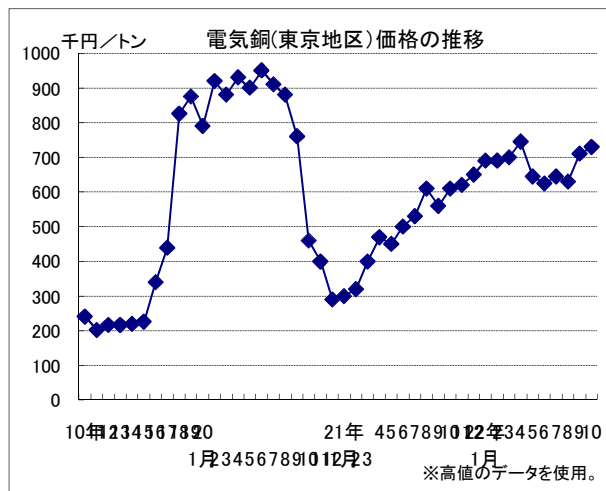
4. ステンレス



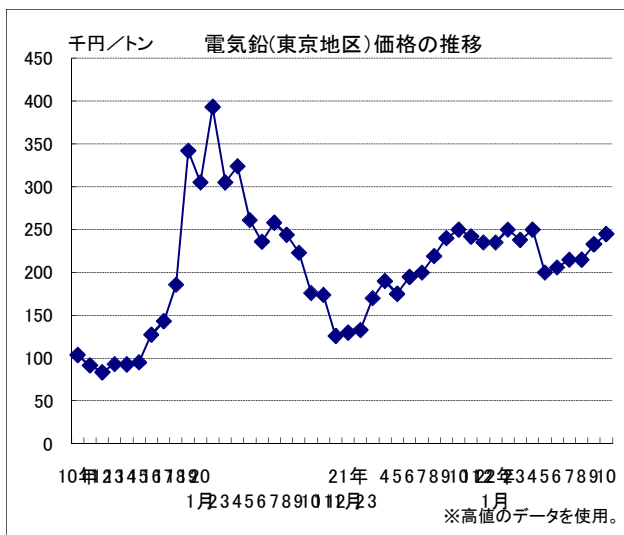
5. アルミニウム



6. 銅



7. 鉛



8. ナフサ

